

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2021.06.18

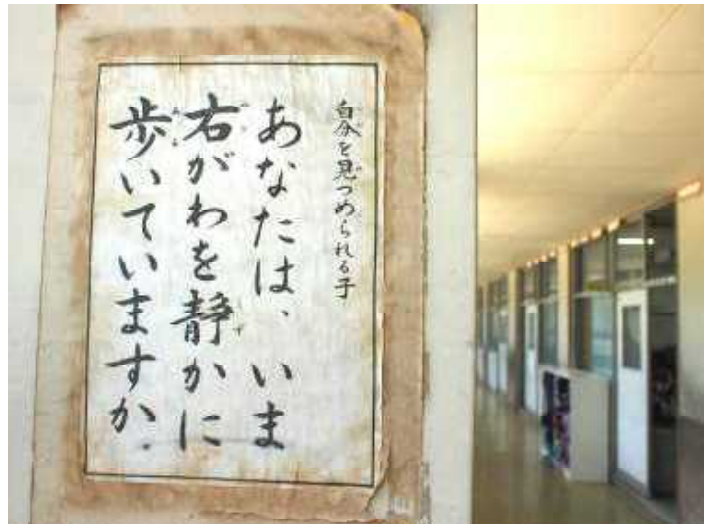
NO, 2 4



4年生の社会科の学習で、和歌山県のことを学んでいました。同じ和歌山県であっても、気温が全然違うが、それはどうしてだろう？と子どもたちに投げかけていました。子どもたちは、自分たちなりの考えを出し合いながら学びを深めていました。学びを広げ、深めるためには新たな知識を手に入れること、様々な考えに触れること、なかまと意見交換する中で自分の考えを磨くこと、などが考えられます。とくに、なかまとの交流を通しての学びについて、本校では大切にしています。なかまとのコミュニケーションが学びを広げ、深める。そういう学習を成立させたいと、各学級で取り組みを進めています。

に、なかまとの交流を通しての学びについて、本校では大切にしています。なかまとのコミュニケーションが学びを広げ、深める。そういう学習を成立させたいと、各学級で取り組みを進めています。

廊下の掲示物の一つです。この掲示物を見て、少し考えたことがあります。「廊下を走るな！」と何が違うか。求めることはそう違っているとは思われません。しかし、見た印象はかなり違うし、気持ち、心への訴え度は大きく違う気がしますね。



「～～するな！」とつい子どもたちに行ってしまうがちですが、たまにはこう言った言い方で子どもたちに話をしてみることも大切かと。子どもたちに「自分の心、気持ちと向かい合ってみて！」「自分としっかり対話してみて！」という感じでしょうか。私も自分自身としっかり対話してみたいと思います。案外、そういう機会ってないんですよね。たまには他人とではなく、自分と会話してみることも大切！子どもたちにも「自分と会話」してみるような投げかけをしてあげてください！